

【研究概要】

多剤耐性細菌感染症治療を目指した情報伝達阻害型薬剤の開発

(岡島 俊英)

抗菌化合物 waldiomycin の部分構造を模倣した化合物ライブラリーを作成した結果、多くの化合物に、抗菌性および細菌増殖に必須な情報伝達系ヒスチジンキナーゼ (HK) の阻害活性があることがわかった。さらに選抜された複数の化合物は、各種の病原細菌の病原性や薬剤耐性を制御する HK も幅広く阻害していた。これらの結果は、得られた化合物が、抗菌性に加え、細菌の病原性や薬剤耐性を制御する新しい治療薬開発の可能性を提示している。